



週間情報



No.0802

発行日 令和8年1月13日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 女性活躍推進事業「フェムテック研修」を開催

愛媛県消防長会（愛媛）

愛媛県消防長会では、令和7年12月15日（月）、総務省消防庁の「消防本部における女性消防吏員活躍推進モデル事業」の一環として、令和7年度愛媛県消防長会女性活躍推進事業「フェムテック研修」を開催しました。

当日は、一般社団法人四国フェムテック協会理事を講師としてお招きし、生理と体の基本知識についてご講義いただき、女性の心と体の変化について学ぶことができました。

また、生理痛体験装置を活用した疑似体験を行ったほか、リアルボイスグループワークを実施し、女性職員の声を聞くことで、現場のニーズを共有するとともに、相互理解を深めることができました。

今後は、本研修で学んだことを生かし、誰もが働きやすい職場風土づくりと女性消防吏員活躍の一層の推進につなげてまいります。



【研修の様子】

消防本部の動き

行事

◆ 応急手当普及啓発資器材の寄贈式を実施

浜松市消防局（静岡）

浜松市消防局では、令和7年12月16日（火）、株式会社クロスデバイスから応急手当普及啓発資器材「救急救命VRトレーニング（AED-VR）」の寄贈を受けたことから、寄贈式を実施しました。

この資器材は、VR空間において、心肺蘇生法の胸骨圧迫やAEDの使用方法を、実際に実施しているかのようにリアルに学ぶことができるICTシステムで、初心者から経験者まで、訓練者のレベルに応じて、講習、練習、評価までを一貫して、効果的に学習することができます。

今後は、この資器材を応急手当の普及啓発活動に積極的に活用し、市民の皆さまが「もしもの時」に冷静かつ的確に対応できるよう、命を救うスキル習得に資する「X（変革）」ツールとして役立ててまいります。



【寄贈式の様子】



【寄贈された「AED-VR」】

◆ 消防用ロボットを導入

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部では、令和7年12月16日（火）、サンリツオートメイション株式会社および愛知工業大学と共同で開発した消防用ロボットを導入しました。

このロボットは、大規模空間での火災や有毒ガスなどが発生する特殊な環境下において、要救助者の捜索やガス検知などを行うことが可能で、災害実態を早期に把握することにより、市民だけではなく、隊員の安全を守る資機材として期待されます。

なお、同月18日（木）、同社と継続的に検証および改良を行うことを目的として、「消防用ロボットの能力開発に関する協定」を締結しました。

今後も、積極的に先進資機材を駆使するとともに、災害対応力の強化に努めてまいります。



【導入された消防用ロボット】



【締結後の記念撮影】

訓 練

◆ 警察機関と合同で車両解体訓練を実施

羽島市消防本部（岐阜）

羽島市消防本部では、令和7年12月16日（火）、岐阜県警察本部機動隊と合同で、実車両を活用した車両解体訓練を実施しました。

この訓練は、大規模災害発生時には、警察・消防機関が共に被災地に派遣され、「住民の生命・身体・財産を守る」使命を担うことから、共通の重要課題である救助活動に関する知識・技術の向上と相互の連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、救助資機材メーカーの社員を講師としてお招きし、車両の構造特性を理解した効率的な解体技術などについてご指導いただき、新たな知識・技術を得ることができ、大変有意義な訓練となりました。

今後も、関係機関との合同訓練を継続し、安全・確実・迅速な救助活動を目指してまいります。



【訓練の様子】

◆ 「令和7年度消防長点検（消防活動訓練）」を実施

羽咋都市広域圏事務組合消防本部（石川）

羽咋都市広域圏事務組合消防本部では、令和7年12月15日（月）、16日（火）の2日間、北電産業株式会社から、職員寄宿舎として使用していた「グリーンハイツ志賀（休止中建物）」を訓練場所としてご提供いただき、「令和7年度消防長点検（消防活動訓練）」を実施しました。

この訓練は、指揮隊、消防隊、指令センターが連携し、迅速な要救助者の救出を目指すとともに、屋内進入隊が危機的状況下に置かれた際の退避訓練を行うことで、部隊間の連携強化と危機対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、実災害を想定した実践的な訓練において、逃げ遅れた要救助者の検索、救出、屋内進入時における危機的状況の発生から退避に至るまでの一連の流れを、迅速かつ的確に実施しました。

今後も、訓練を継続し、同種事案への対応力の向上を図るとともに、地域の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 多数傷病者対応図上訓練を実施

御殿場市・小山町広域行政組合消防本部（静岡）

御殿場市・小山町広域行政組合消防本部では、令和7年12月16日（火）、17日（水）の2日間、順天堂大学医学部附属静岡病院と合同で、多数傷病者対応図上訓練を実施しました。

この訓練は、令和4年に発生した「ふじあざみライン観光バス事故」を教訓とし、医療機関との連携強化を図るとともに、多数傷病者が発生する災害時に効果的な消防活動を行うことを目的として実施したものです。

当日は、同病院から医師と看護師も参加し、関係機関との協力要領、部隊配置、搬送先医療機関の選定などについて、設定した時間の中で訓練を行い、同病院との共通認識を深めるとともに、情報共有体制について再確認することができました。

この訓練を通じて、図上訓練でありながら、「一人でも多くの命を救う」という緊張感と強い使命感を実感することができ、大変有意義な訓練となりました。

当消防本部は、多くの幹線道路を管轄に持つことから、今後も、さまざまな事故・災害を想定した訓練を推進してまいります。



【訓練の様子】

◆ 名神高速道路（東部地区）合同防災訓練を実施

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和7年12月18日（木）、滋賀県警察本部、西日本高速道路株式会社、5消防本部と合同で、名神高速道路（東部地区）合同防災訓練を実施しました。

当日は、「名神高速道路上で交通事故と火災が発生した。」との想定で、図上訓練および実動訓練を実施し、図上訓練では、事故発生車線別の部署位置や活動要領などについて意見交換を行い、各機関それぞれの考え方や活動要領について共通認識を深めることができました。

また、実動訓練では、図上訓練のイメージを生かし、交通規制から災害対応、交通規制の早期回復までを主眼とし、関係機関が連携して迅速かつ的確に活動しました。

今後も、関係機関との相互理解を深めるとともに、高速道路災害における対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 土砂災害救助対応訓練を実施

新城市消防本部（愛知）

新城市消防本部では、令和7年12月19日（金）、土砂災害救助対応訓練を実施しました。

この訓練は、近年頻発する土砂災害に迅速かつ的確に対応するため、消防隊員の救助技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「集中豪雨による土砂災害が発生し、斜面に埋没した要救助者がいる。」との想定で、実際に土砂に水分を含ませ、より実践的な環境下で救助活動を行い、斜面掘削時の安全管理要領、資機材の効果的な活用要領、隊員間の連携要領について再確認し、土砂災害時の対応力の向上につなげることができました。

今後も、各種災害を想定した訓練を継続し、地域住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「消防法令違反を想定したブラインド型合同消防訓練」を実施

高山市消防本部（岐阜）

高山市消防本部では、令和7年12月19日（金）、防火優良認定証の認定を受けているホテルアソシア高山リゾートにご協力いただき、「消防法令違反を想定したブラインド型合同消防訓練」を実施しました。

この訓練は、ホテル施設特有の火災（消防法第5条の3第1項および消防法第17条第1項に関するもの）に備えるため、適切かつ迅速な消防活動を行うことを目的として実施したものです。

当日は、消火・避難・消防活動の支障となる物件をあらかじめ設定し、不測の事態における臨機応変な消火活動について確認したほか、東芝エレベーター株式会社高山出張所の社員から非常用エレベーターの使用方法についてご説明いただき、理解を深めることができました。

今後も、警防救助技術および消防法令違反は正に係る知識の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 警防活動訓練会を開催

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和7年12月16日（火）、19日（金）の2日間、西消防署において、警防活動訓練会を開催しました。

当消防局は、これまで消防隊の警防訓練指導会として、消防隊員一人一人の動きを確認してきましたが、今年度から規模を拡大し、火災現場で活動する指揮隊、救助隊、救急隊も加わり、組織全体で訓練を行いました。

当日は、火災を想定した訓練をブラインド型で実施し、実践ながらの緊迫した状況下で、技術と知識の向上につなげるとともに、今後の課題を抽出することができました。

災害現場において組織的な消防活動を行うため、今後も、大隊長を中心とした各級指揮者の適切な指揮能力の向上と小隊間の連携強化を図るとともに、安全管理を徹底してまいります。



【訓練の様子】

◆ 警察機関と山岳救助訓練を実施

長野市消防局（長野）

長野市消防局では、令和7年12月24日（水）、長野県警察本部長野南警察署の高原パトロール隊と合同で山岳救助訓練を実施しました。

この訓練は、山間地で負傷者が発生した救助事案に備えるため、同警察本部との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、計20人が参加し、実践的な訓練を通じて、要救助者の迅速な救出方法や活動隊員の安全確保について情報共有を行い、災害対応力の向上を図ることができました。

今後も、連携訓練を継続し、情報交換を行うことで顔の見える関係を構築するとともに、災害対応力のさらなる向上と連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

研 修

◆ 市民消防教室で講演会を開催

加古川市消防本部（兵庫）

加古川市消防本部では、令和7年12月14日（日）、加古川市総合福祉会館において、市民消防教室の一環として、講演会「こどもを守る火災予防」を開催しました。

当日は、多くの市民が参加し、一般社団法人「火災予防のONE LOVE」代表理事の渡邊航生氏を講師としてお招きして、「こどもを守る火災予防」をテーマに、家庭や外出先でも実践できる火災予防のポイントや子どもの命を守るために大人が果たす役割について、具体例を交えながら分かりやすくご講演いただきました。

参加者から、「自宅や外出先でも子どもの命を守るために、火災予防について家族で話をしてみようと思いました。」との感想を聞くことができ、火災予防の重要性について、改めて考えさせる素晴らしい講演会となりました。

この講演会を通じて、職員が火災予防の伝え方や話し方についての理解を深めることができ、職員にとっても大変貴重な機会となりました。



【講演会の様子】



【講師の渡邊航生氏】

◆ 「警防・救助研修会」を開催

静岡県東部消防長会（静岡）

静岡県東部消防長会（下田消防本部、駿東伊豆消防本部、熱海市消防本部、富士山南東消防本部、御殿場市・小山町広域行政組合消防本部、富士市消防本部、富士宮市消防本部）では、令和7年12月15日（月）、「警防・救助研修会」を開催しました。

この研修会は、火災現場における安全管理能力のさらなる向上を図ることを目的として開催したものであります。

当日は、50人が参加し、横浜市消防局の石坂孝氏を講師としてお招きして、「危機的状況下における安全管理」をテーマに、火災現場における安全管理体制の構築と体制強化に向けた取り組みについてご講義いただきました。

今後も、本研修を契機に、火災現場における安全管理に努めてまいります。



【研修会の様子】



◆ 「航空支援活動研修会」を実施

防府市消防本部（山口）

防府市消防本部では、令和7年12月16日（火）、「航空支援活動研修会」を実施しました。

当日は、市内の陸上自衛隊防府分屯地（第13飛行隊）の隊員を講師としてお招きし、「航空支援活動」をテーマに、これまでの自然災害や林野火災による災害派遣で、陸上自衛隊の航空機を活用した活動内容や消防機関との連携時の留意点について、具体的にご講話いただきました。

この研修会を通じて、自衛隊の組織、任務、保有する航空機の特徴などについて詳しく学ぶことができました。

また、近年、大規模災害の発生が増加する中、関係機関と効果的な連携活動を行うために、活動に関する相互理解と情報共有が重要であることを改めて認識する機会となりました。

今後も、本研修会を継続し、関係機関との相互理解と連携強化に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 「女性消防吏員活躍推進研修会」を開催

郡上市消防本部（岐阜）

郡上市消防本部では、令和7年12月17日（水）、定期的に行っている職員研修の一環として、「女性消防吏員活躍推進研修会」を開催しました。

当日は、中濃地区2消防本部（可茂消防事務組合消防本部、中濃消防組合消防本部）の女性消防吏員も参加し、総務省消防庁女性消防吏員活躍推進アドバイザーの染谷由美子氏（高崎市等広域消防局）を講師としてお招きし、「働きやすい職場環境の構築」と題して、これまでの経験を交えながらご講演いただいたほか、講演後には女性活躍推進に向けた会議を開催し意見交流を行いました。

この研修会を通じて、性別やライフステージに関わらず、全ての人が活躍できる組織を目指すために、育児休業などの制度の理解や職場でのコミュニケーションの大切さなどを学ぶことができ、非常に有意義な研修会となりました。

今後も、男性女性ともに働きやすい職場づくりや勤務を継続しやすい環境づくりに努めてまいります。



【講演会の様子】



【記念撮影の様子】

◆ 「分娩介助・新生児蘇生研修会」を開催

名張市消防本部（三重）

名張市消防本部では、令和7年12月17日（水）、18日（木）の2日間、「分娩介助・新生児蘇生研修会」を開催しました。

この研修会は、三重大学大学院医学系研究科助教・助産師の高橋恭子氏と当市出身で白子ワイメンズホスピタルの福屋有希氏にご協力いただき、当消防本部救急救命士と協働で開催したものです。

当日は、三重大学大学院から分娩モデルや新生児蘇生人形を借用し、分娩介助やN C P Rアルゴリズムに沿った新生児蘇生トレーニングを行ったほか、実際の救急車などを用いて車内分娩から新生児蘇生までの一連の流れを確認しました。

受講した職員からは、貴重な訓練資器材を活用した訓練や助産師からの直接指導が好評で、継続開催の要望が多く挙がりました。

当市では、令和7年1月から分娩空白自治体となり、今後、さらなる妊婦の救急事案の増加が見込まれる中、本研修会は現場を想定した実践的かつ有意義なものとなりました。



【研修会の様子】

◆ 「分娩介助実技研修会」を開催

枕崎市消防本部（鹿児島）

枕崎市消防本部では、令和7年12月17日（水）、18日（木）の2日間、妊婦情報事前登録制度「産救サポートまくらざき」の運用の一環として、妊婦の救急搬送に携わる職員に対する「分娩介助実技研修会」を開催しました。

当日は、地域周産期医療の最前線で活躍する産婦人科医師および助産師を講師としてお招きし、座学では、産婦人科領域の処置に関する法的根拠やメディカルコントロール体制の重要性についてご講義いただき、実技研修では、モデル人形を活用しながら分娩介助の手技などについてご教授いただきました。

今後も、「産救サポートまくらざき」を利用する妊婦やその家族の安全・安心のため、職員の救急技術に関する資質の向上に努めてまいります。



【座学の様子】



【実技の様子】

その他の

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

登米市消防本部（宮城）

登米市消防本部では、令和7年12月18日（木）、消防協力者に対し、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年10月9日（木）に発生した住宅火災において、近隣の職場で勤務していた消防協力者が、黒煙と爆発音を聞きつけて火災現場に駆け付け、住宅内に逃げ遅れた住人男性を黒煙が充满する室内から抱えて屋外へ救出したものです。

消防協力者の行動は、市民の安全を守る模範であり、その勇気と迅速な判断力に深く敬意を表します。

今後も、皆さまの安全を第一に考え、市民一人一人が安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 大型商業施設の年末商戦に合わせた消防長特別査察を実施

印西地区消防組合消防本部（千葉）

印西地区消防組合消防本部では、令和7年12月18日（木）、管内の大型物販店舗において、年末商戦に合わせた消防長年末特別査察を実施しました。

当日は、消防長を先頭に査察担当職員が中心となり、店舗内の避難通路の幅員や障害物の有無について重点的に確認しました。

また、11月下旬から12月末日にかけ、管内の大型商業施設で特別査察を実施し、関係者に対して防火安全対策の徹底を指導しました。



【消防長特別査察の様子】

◆ 消防長特別査察を実施

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和7年12月19日（金）、集客力の高い商業施設において、年末特別警戒の一環として、消防長特別査察を実施しました。

当日は、消防用設備等および避難経路の維持管理状況や防火管理体制について確認を行い、防火対象物の関係者に対し、防火安全対策を徹底し、利用者と従業員の安全・安心を確保するよう指導しました。

今後も、市民の安全・安心を守るために、さまざまな取り組みに努めてまいります。



【消防長特別査察の様子】

◆ 力士たちと年末年始の防火を願う餅つきを実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁浅草消防署では、令和7年12月21日（日）、浅草消防少年団員と大相撲西岩部屋の力士たちが年末年始の防火を願う餅つきを実施しました。

当日は、小学生から高校生までの50人が参加し、西岩親方（元関脇若の里）や関政幸浅草消防署長が見守る中、8人の力士が力強く餅をつく姿を見学した後、力士と一緒に餅つきを行いました。

また、ついたお餅と共に、栄養満点の西岩部屋特製のちゃんこ鍋も一緒にいただき、団員は「お餅もちゃんこもとっても美味しかったです。」と身も心も満たされた様子で、力士の迫力と温かい雰囲気に包まれ、忘れられない貴重な体験となりました。

なお、ついた餅は鏡餅にして、同消防署と西岩部屋に飾りました。



【餅つきの様子】

【力士との記念撮影】

◆ 「坂出市消防本部PR動画完成披露会」を開催

坂出市消防本部（香川）

坂出市消防本部では、令和7年12月22日（月）、市役所本庁舎大会議室において、「坂出市消防本部PR動画完成披露会」を開催しました。

当日は、動画制作にご協力いただいた香川県立坂出商業高等学校の生徒をお招きし、市長からごあいさついただいたほか、完成披露試写、メーキング映像の観覧、携わった生徒に対するインタビューを行いました。

このPR動画は、広報活動の一環として、「消防をもっと知ってもらおう・もっと好きになつてもらおう！」をコンセプトに、消防本部SNS部が中心となり、企画・撮影・編集のすべてを同高等学校と協同で制作し、9か月の制作期間を経て完成したものです。

今後も、さらに当消防本部を身近に感じていただけるよう、引き続き情報を発信してまいります。



【披露会後の記念撮影】



【当市公式Y o u T u b e 二次元コード】

◆ デイタイム救急隊の救急車を更新しデザインを一新

八尾市消防本部（大阪）

八尾市消防本部では、令和7年12月23日（火）、デイタイム救急隊の救急車（A12）を更新し、デザインを一新しました。

この取り組みは、10年以上続いた救急車のデザインを一新し、効果的に救急車の適正利用を広報することで、市民の意識改革を図ることを目的として実施したものです。

このデザインは、複業人材起用として、プロダクトデザイナーの水野昌彦氏にご協力いただき、ただ目立つだけではなく、市民の行動につながる「伝わり方」を意識したラッピングデザインとしました。

今後も、救急安心センター「#7119」の普及啓発を図るとともに、「救急車の適正利用」の促進に努めてまいります。



【更新した救急車】



消防学校からの便り

◆ 「令和7年度実火災訓練教育課程」を実施

埼玉県消防学校（埼玉）

埼玉県消防学校では、令和7年12月18日（木）、19日（金）、23日（火）、24日（水）の4日間、「令和7年度実火災訓練教育課程」を実施しました。

この教育課程は、火災発生件数が減少傾向にある中で、職員が火災性状を正しく理解するとともに、安全な消防活動を行うことを目的として実施したものです。

期間中は、各日18人計72人の職員が参加し、座学では、火災性状の理解について理論学習を行ったほか、火災発生時の炎の動きや進展について、VRゴーグルを活用した映像シミュレーション体験を実施しました。

また、実火災体験型訓練では、訓練施設のコンテナ内で木材パレットを燃焼させ、実際の火災と同様の濃煙や高温環境を体験し、火災現場で必要となる知識と技術を身につけることができました。

今後は、本教育課程修了者が学んだ知識と技術を生かし、各所属本部において、火災への安全意識を高めるとともに、組織全体の防火・防災力の向上に寄与することが期待されます。



【教育の様子】

国等の動き

消防庁通知

◆ 建物建築費指標について（通知）

（消防情第308号、令和7年12月24日）

消防庁防災情報室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

標記の件につきまして、火災報告取扱要領（平成6年4月21日付け消防災第100号）別表第4の「1表 建物建築費指標表」中、「その1 木造建物」及び「その2 鉄骨鉄筋・鉄筋コンクリート造建物」に係る令和7年9月期の指標を以下のとおり定めましたので通知します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/kenchikuhisuu251224.pdf>）に掲載されています。

（連絡先）

消防庁防災情報室 担当：田中、津辺

TEL：03-5253-7526

FAX：03-5253-7536

◆ 危険物規制事務に関する執務資料の送付について

(消防危第260号、令和7年12月25日)

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

危険物規制事務に関する執務資料を別添のとおり送付しますので、執務上の参考としてください。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨周知されるようお願いします。

本通知は消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発するものであることを申し添えます。（別添省略）

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/251225_kiho_260.pdf) に掲載されています。

(問い合わせ先)
消防庁危険物保安室
担当：三宅、小澤、宇野、中山
TEL：03-5253-7524
mail：fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp

◆ 大阪市中央区ビル火災事故調査中間報告（概要）について

(事務連絡、令和7年12月25日)

消防庁消防・救急課、消防庁予防課から各都道府県消防防災主管部（局）あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

令和7年8月18日、大阪府大阪市中央区の火災現場において、消防活動中の消防職員2名が死亡するという事案が発生しました。

本事案を受け、大阪市消防局では事故調査委員会を設置し、事故発生時の状況や原因の調査、建物状況や法令違反との因果関係などの調査を実施してきたところであり、今般、中間報告（概要）が公表されましたので、今後の消防活動時等の安全管理の参考としていただきますようお願いします。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/251225_yobou_jimu1.pdf) に掲載されています。

消防庁 消防・救急課
担当：高木、鈴木
TEL：03-5253-7522
消防庁 予防課
担当：奥田、辻
TEL：03-5253-7523

◆ 林野火災対策広報用リーフレットの送付・公表について

(事務連絡、令和7年12月26日)

消防庁予防課長、消防長特殊災害室から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長、各消防本部消防長あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

貴職におかれましては、平素から消防行政に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび林野火災が多く発生する時季を迎えるに当たり、林野火災対策広報用のリーフレットを作成し、各消防本部等に対して送付いたしますとともに、消防庁ホームページに掲載することといたしました。

本リーフレットは、林野火災の低減に資する内容となっており、このたび創設された「林野火災警報」及び「林野火災注意報」についても紹介しておりますので、ぜひご活用ください。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/yobo1.pdf>) に掲載されています。

消防庁予防課予防係

担当：谷川、高木

TEL : 03-5253-7523

消防庁特殊災害室

担当：石野、緑川

TEL : 03-5253-7524

報道発表

◆ 危険物の規制に関する政令別表第一及び同令別表第二の総務省令で定める物質及び数量を指定する省令の一部を改正する省令（案）に対する意見公募

(令和7年12月25日、消防庁)

消防庁は、危険物の規制に関する政令別表第一及び同令別表第二の総務省令で定める物質及び数量を指定する省令の一部を改正する省令（案）について、令和7年12月26日（金）から令和8年1月29日（木）までの間、意見を公募します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/e865783e089b4f4a0e498bf87054b283511ac9ae.pdf>) に掲載されています。

(事務連絡先)

消防庁予防課危険物保安室 石野、鈴木

TEL 03-5253-7524（直通）

E-mail:fdma.hoanshitsu_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には「@」に変更してください。

◆ 「消防本部における女性活躍推進に関する検討会報告書」の公表

(令和7年12月26日、消防庁)

消防庁では、令和7年4月より「消防本部における女性活躍推進に関する検討会」を開催し、今般、報告書をとりまとめましたので公表します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/251226_shoukyu_houkokusho.pdf) に
掲載されています。

＜問合せ先＞

消防庁消防・救急課

鶴見対策官、岩熊課長補佐、小川係長

電話：03-5253-7522

情報提供

◆ 全国消防グループ保険等の新規加入・契約更新のご案内

一般財団法人全国消防協会

キャンペーン実施中!! このチャンスをお見逃しなく!!

全国の消防職員の皆さんにご利用いただいております全国消防グループ保険等の新規加入および契約更新の時期がまいりました。各消防本部のご担当者さまを通じて皆さまへご案内させていただきます。

ご存じのとおり消防団体保険は、お手頃な保険料と充実の保障（補償）内容で、全国の消防職員とそのご家族だけが加入できる特別な保険です。

新たな保険への加入をご検討の方、すでに加入している保険の見直しをご検討されている方は、この機会に是非ご加入ください。

また、退職を予定されている皆さんにも継続して保障（補償）が受けられる保険をご提供させていただいておりますので是非ご検討ください。

全国消防グループ保険に新規にご加入等をいただいた方には、もれなく素敵なプレゼントを進呈するキャンペーンを実施中です。この機会に是非ご加入ください。

★消防団体保険はお得な保険！！

- 団体割引を適用した**お手頃な保険料**
- 各種ラインアップから**充実の保障（補償）**を選択可能
- 簡単な告知のみ**で加入でき、**医師の診断書は不要**
- ライフステージに応じて**毎年保障（補償）**内容の見直しが可能
- 全国消防グループ保険と医療保障保険には、**配当金があり実質負担が軽減**
- 退職後も**団体割引を適用した**お手頃な保険料**で継続加入可能

★ご案内している保険のラインアップ！！

保険名称	保険期間	申込書提出締め切り
全国消防グループ保険	令和8年6月1日～令和9年5月31日	
医療費支援制度	「全国消防グループ保険」に加入することによって、この4つの保障にも加入することができます。	令和8年2月10日（火） (各本部担当者への提出期日です。)
医療保障保険		
三大疾病保険		
プラスサポート生命保障		
消防退職者医療保険	令和8年6月1日～令和9年6月1日	令和8年3月31日（火）
消防職員傷害保険	令和8年7月1日～令和9年1月1日	令和8年2月20日（金）
消防職員医療保険	—	—
弁護のちから（募集なし）	—	—
消防職員がん保険	令和8年6月1日～令和9年6月1日	令和8年3月31日（火）
消防職員介護保険	令和8年4月1日～令和9年4月1日	令和8年2月6日（金）
消防職員賠償責任保険	—	—

※退職者医療保険は毎月1日始まりで中途加入できます

★充実した保障（補償）内容！！

保険名称	主な保障（補償）内容
全国消防グループ保険 新規加入・保障額増額 キャンペーン実施中！	<ul style="list-style-type: none"> ① 死亡・高度障害を加入コースに応じて 保険金（一時金）165万円～2,400万円まで保障 ② 5日以上のケガによる入院を1日目から保障 ③ 現職中に加入すれば退職後も80歳まで継続加入可能 ※ 加入できる保障額に制限があります。 ④ 配当金制度による実質保険料の負担軽減 【令和6年度の配当率】50.928%
医療費支援制度 新規加入 キャンペーン 実施中！	<ul style="list-style-type: none"> ① 病気やケガで入院した場合に、入院日数に関わらず、 1回の入院につき、入院初期費用保険金として、一時金 30,000円を給付 ② 入院月数に応じて1月につき、入院支援保険金として 25,000円を給付 (例) 日帰り入院の場合 $30,000円 + 25,000円 = 55,000円$を給付 ③ 現職中に加入すれば退職後も80歳まで継続加入可能
医療保障保険	<ul style="list-style-type: none"> ① 5日以上のケガと病気による入院を5日目から保障 ② 現職中に加入すれば退職後は「消防退職者医療保険」 (5,000円タイプ)に無告知で移行して加入可能で、 89歳まで継続加入可能 ③ 配当金制度による実質保険料の負担軽減 【令和6年度の配当率】40.761%
三大疾病保険 新規加入 キャンペーン 実施中！	<ul style="list-style-type: none"> ① がん、急性心筋梗塞、脳卒中に対する 一時金の生存給付を保障 ② 死亡・高度障害の際にも上記一時金と同額の給付金を保障 ③ リビングニーズ特約付 ④ 現職中に加入すれば退職後も70歳まで継続加入可能
プラスサポート 生命保障	<ul style="list-style-type: none"> ① 死亡・高度障害の際に一時金300万円を保障 ② 現職中に加入すれば退職後も70歳まで継続加入可能 ③ 加入時の保険料率は70歳まで変更なし ④ リビングニーズ特約付

保険名称	主な保障（補償）内容
消防退職者医療保険 インターネットによる申込手続き	<p>① ケガと病気による入院を1日目から補償</p> <p>② ケガと病気による手術を補償</p> <p>③ ケガと病気による死亡の際に葬祭費用として100万円を限度に実費を支給 (満80歳から満89歳の方は、葬祭費用補償特約を付帯しないリーズナブルな保険料のプランに加入可能)</p> <p>④ 先進医療に要する費用等の実費をタイプに応じて300万円から600万円限度に補償</p> <p>⑤ 現在全国消防グループ保険の医療保障保険に加入中の方は、退職時に本保険の「5,000円タイプ」に無告知で移行して加入可能で、89歳まで継続可能</p>
消防職員傷害保険	<p>① ケガによる通院、入院を1日目から補償</p> <p>② ケガによる手術、死亡、後遺障害を補償</p> <p>③ 家族コース、夫婦コース、個人コースの3コースを準備</p> <p>④ 天災危険補償特約（地震、噴火またはこれらによる津波などの天災によるケガ）、熱中症危険補償特約、特定感染症危険補償特約を付帯</p> <p>⑤ 個人賠償・携行品・ゴルファーの各種オプションを追加可能</p>
消防職員医療保険	<p>① ケガと病気による入院を1日目から補償</p> <p>② ケガと病気による手術を補償</p> <p>③ ケガと病気による死亡を最大100万円補償</p> <p>④ 天災危険補償特約（地震、噴火またはこれらによる津波などの天災によるケガ）を付帯</p> <p>⑤ 先進医療に要する費用等の実費を300万円限度に補償</p> <p>⑥ 70歳まで新規加入可能（継続は90歳まで可能）</p>
消防職員がん保険 インターネットによる申込手続き	<p>① がん診断保険金のみプランでは、がんと診断されたとき、一時金100万円、200万円、300万円を給付</p> <p>② 補償プランの選択により、診断保険金に加えて、入院、通院、手術、抗がん剤治療や再発転移、生活支援を補償</p>
消防職員介護保険 インターネットによる申込手続き	<p>① 要介護2以上の認定を受けたとき、または、引受保険会社が認める所定の要介護状態が90日を超えて継続した場合に、一時金300万円を給付</p>

保険名称	主な保障（補償）内容
消防職員賠償責任保険 インターネットによる 申込手続き	<p>① 消防職員個人が被る法律上の損害賠償金や訴訟費用を補償</p> <p>② 救急救命士の専門業務に伴う損害も補償</p> <p>③ 消防職員が第三者からの迷惑行為による被害を被った場合の弁護士費用等を補償</p>

★全国消防グループ保険の新規加入・保障額増額キャンペーン実施中！！

全国消防グループ保険では、新規にご加入等をいただいた皆さんに、素敵なプレゼントを進呈するキャンペーンを実施中です。この機会に是非ご加入ください。

【キャンペーンの概要】

キャンペーン実施期間中に下記応募要件を満たした方に、**もれなくプレゼント（有名スポーツブランドのマルチバッグ）を差しあげます。**

【応募期間】

令和8年度全国消防グループ保険の新規・更新募集期間

【応募対象者】

以下の2つの要件を満たした方が対象となります。

① 以下のいずれかに該当したこと

- 《グループ保険》
 - ・本人、配偶者または子どもの新規加入
 - ・本人、配偶者または子どもの保障額を増額
- 《三大疾病保険》
 - ・本人、配偶者または子どもの新規加入
- 《医療費支援制度》
 - ・本人または配偶者の新規加入

② 令和8年6月期の保険料の入金確認ができたこと

【応募方法】

加入申込書兼告知書の上段にある「プレゼント送付先住所」欄にご記入いただき、令和8年2月10日（火）までに各消防本部の保険事務担当者へご提出ください。

詳細は、全国消防グループ保険のパンフレットP34をご参照ください。

このチャンスをお見逃しなく!!

- 各保険の詳細につきましては、各消防本部に送付いたしましたパンフレット等または協会ホームページ（<https://www.ffaj-shobo.or.jp/hoken/index.html>）をご覧ください。
- 本件についてご不明な点等は、以下の本協会各担当までお問い合わせください。

全国消防グループ保険担当
一般財団法人全国消防協会
業務課 岩澤・石井（美）・石渡
電話 03-4500-6625
フリーダイヤル 0120-119-147
※土日・祝祭日除く 9:00～17:00

損害保険担当
全国消防保険サービス株式会社
担当 三和・高本・三品・安江・小沢
電話 03-4500-6626
フリーダイヤル 0120-065-988
※土日・祝祭日除く 9:00～17:00

◆ 第44回全国消防殉職者慰靈祭の映像配信のお知らせ

公益財団法人日本消防協会
後援：総務省消防庁

公益財団法人日本消防協会では、消防防災の任務を遂行中、不幸にして尊い犠牲となられた全国消防殉職者と消防協力殉難者の慰靈祭を執り行い、その功績を称え、御靈に深甚なる敬意と感謝の誠を捧げるとともに、衷心よりご冥福をお祈りすることを目的として、昭和57年から毎年「全国消防殉職者慰靈祭」を開催しております。

今年度も、総務省消防庁の後援により令和7年9月11日（木）に「第44回全国消防殉職者慰靈祭」を執り行い、次の日程で映像送信いたしますのでお知らせいたします。

1 映像送信媒体

一般財団法人自治体衛星通信機構 地域衛星通信ネットワーク

2 映像送信日時（番組時間66分）

- (1) 令和8年1月 7日（水）10時00分から11時06分まで
- (2) 令和8年1月14日（水）10時00分から11時06分まで
- (3) 令和8年1月21日（水）10時00分から11時06分まで
- (4) 令和8年1月28日（水）10時00分から11時06分まで

3 使用チャンネル

1チャンネル

4 動画配信

一般財団法人自治体衛星通信機構のホームページ（消防チャンネル）からも視聴できます。

<http://www.lascom.or.jp/movie/shobou/>

【問合せ先】

公益財団法人 日本消防協会
福祉部 宮川・大河原・嶋田
TEL: 03-6263-9604 FAX: 03-6263-9863
E-mail:shimada@nissho.or.jp

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL : 03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL : 03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 中西

原稿データは、honoo@ffa-j-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。

（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）

- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL : 03-4500-6622 「週間情報」担当：企画課 吉田

原稿データは、weekly@fcaj.gr.jpに送信願います。